

インテル® C++ コンパイラー 10.1
日本語版 スペシャル・エディション

— インストール・ガイド —



エクセルソフト株式会社

www.xlssoft.com

～ はじめに ～

本ドキュメントでは、インテル® C++ コンパイラー 10.1 のインストール手順を説明します。

インテル® C++ コンパイラーをインストールするには、あらかじめシステムに Microsoft* Visual Studio* などのビルド環境（リンク環境）が必要となります。これは、インテル® C++ コンパイラーが Microsoft* 製品のリンカーを使用するためです。また、インテル® C++ コンパイラーは、Microsoft* Visual Studio* と統合することにより操作性を高め、より効率的な開発作業環境を提供します。

なお、製品をインストールするには、有効な**ライセンス・ファイル**が必要です。ライセンス・ファイルをお持ちでない場合は、製品の**シリアル番号**をインテル®レジストレーション・センターに登録する必要があるのでお手元にご用意ください。

本ドキュメントで説明する内容は以下のとおりです。

- ・ パッケージ内容
- ・ 動作環境
- ・ インストールする前に
- ・ インストール手順
- ・ シリアル番号の登録（ライセンスファイルの取得）
- ・ インテル® C++ コンパイラーのインストール
- ・ Visual Studio 2005 サービスパックの適用

パッケージ内容

インテル® C++ コンパイラー 10.1 には以下のコンポーネントが含まれます。

1. インテル® C++ コンパイラー

- ・ IA-32 対応アプリケーション用 C++ コンパイラー
- ・ インテル® 64 対応アプリケーション用 C++ コンパイラー
- ・ IA-64 対応アプリケーション用 C++ コンパイラー

2. インテル® デバッガー

- ・ IA-32 対応アプリケーション用 デバッガー
- ・ インテル® 64 対応アプリケーション用 デバッガー
- ・ IA-64 対応アプリケーション用 デバッガー

3. Microsoft Visual Studio への統合

動作環境

インテル® C++ コンパイラー 10.1 がサポートする動作環境の概要を以下に示します。

OS : Microsoft Windows Vista*、Windows* XP、Windows Server* 2003

VS : Microsoft Visual Studio 2005、Visual Studio .NET 2003、Visual Studio 6.0、Platform SDK など

ご注意 : インテル® C++ コンパイラー 10.0 より、Windows 2000 のサポート、および Visual Studio .NET 2002 のサポートが対象外となりました。また、最新英語版、10.1.021 より、**Microsoft Visual Studio 2008** をサポートしています。

ノート : 使用する Visual Studio のバージョンにより、作成できるアプリケーションのタイプが異なります。例えば、Visual Studio 2005 を使用する場合は 32 ビットおよび 64 ビット (インテル® 64) 両方のアプリケーション開発が可能ですが、Visual Studio .NET 2003 を使用した場合は、32 ビットアプリケーションのみ作成可能となります。一般的には Visual Studio 2005 を使用することを推奨します。動作環境の詳細は、リリースノートまたは[ビルド環境早見表](#)をご参照ください。

インストールする前に

インストールする前に、以下の内容にご注意ください。

- Visual Studio 2005、Visual Studio .NET 2003 または Platform SDK などインテル® C++ コンパイラーがサポートするビルド環境がシステムにインストールされていることを確認してください。
- Visual Studio 2005 製品を使用する場合は、各種サービスパック (本ドキュメントの「Visual Studio 2005 サービスパックの適用」を参照) が適用済みであることを確認してください。
- 体験版のインテル® C++ コンパイラーがインストールされている場合は、すべてのコンポーネントをアンインストールしてください。
- 古いバージョンのインテル® C++ コンパイラーがインストールされている場合、すべてのコンポーネントをアンインストールするか、または C++ コンパイラー以外のすべてのコンポーネントをアンインストールしてください。(コンパイラーのみ複数のバージョンを共存させることができます。)
- インストールは、管理者権限のあるユーザーで実行してください。

インストール手順

インストール手順の流れは以下の通りです。

① シリアル番号の登録（ライセンスファイルの取得）

② インテル® C++ コンパイラーのインストール

- ・ インストーラーの起動
- ・ ライセンスの認証
- ・ インストールツールの選択
- ・ 選択ツールのセットアップ・タイプ選択（すべて／カスタム）
- ・ 選択ツールのセットアップ設定（カスタム選択時）
- ・ 選択ツールのインストール開始

シリアル番号の登録（ライセンスファイルの取得）

インテル® C++ コンパイラーをインストールする前にシリアル番号をインテル社に登録する必要があります。登録が完了するとインテル社からライセンスファイルが添付された電子メールが届きます。インストール作業はこのライセンスファイルを使用して行います。以下の手順を参考に慎重に登録作業を行ってください。

<シリアル番号登録手順>

- 1) インテル® レジストレーション・センターにアクセスします。

<https://registrationcenter.intel.com/RegCenter/Register.aspx>

製品情報 | テクノロジー & リサーチ | ユーザー別情報センター | サポート & ダウンロード | ニュースレター

インテル® レジストレーション・センターへようこそ

Register a product
If you are new user and do not have an account with registration center, you can directly register a product with the serial number by providing a valid email address below.
+ 必須フィールドを示します

メールアドレス+

メールアドレスの確認入力+

シリアル番号+ Where can I find my serial number?

その他のインテル® ソフトウェア開発製品とトレーニングに関する情報を受け取る。

Registered users log in
Registered users: log in to your account to see the products you have registered, administer your account, download product updates, and access technical support.

ログイン ID+

パスワード+

2) シリアル番号を登録します。

- ・ [Register a product] にチェックをして、メールアドレスおよびシリアル番号を入力し、[Register Product] ボタンをクリックします。

ノート：インテル社にユーザー登録をしていない場合、シリアル番号を登録した後、自動的にユーザー登録画面に切り替わるので、必要情報を入力してアカウントを作成してください。アカウントを作成することにより、最新版コンパイラーのダウンロードなどのサービスを受けることができます。最新版のダウンロード方法は以下のサイトをご参照ください。
<http://www.xlsoft.com/jp/products/intel/support/premier.html>

3) 入力したメールアドレス宛てに、インテル社からライセンスファイルが添付された電子メールが送信されます。

4) ライセンスファイル (.lic ファイル) を任意のローカルフォルダーに保存します。

ご注意：ライセンスファイルの拡張子 (.lic) は絶対に変更しないでください。

ノート：以前、インテル製品または体験版を使用したことがある環境の場合、ライセンスファイルはデフォルトのフォルダー (C:\Program Files\Common Files\Intel\Licenses) に保存することをお勧めします。なお、上記フォルダーに体験版ライセンスなど、不要なライセンスファイルがある場合は削除してください。

5) 登録ができない、または登録後 24 時間経過してもライセンスファイルが送付されない場合、下記のお問い合わせ窓口より弊社サポートまでご連絡ください。

https://www.xlsoft.com/jp/services/xlsoft_form.html

お願い：エクセルソフト株式会社は、インテル® ソフトウェア開発製品の日本国内正規代理店です。日本語によるカスタマーサポートは弊社より提供していますので、弊社へのユーザー情報のご登録もお願いしております。ご登録をお済みでないお客様は、お手数ですが以下のサイトよりご登録くださるようご協力お願いします。

<https://www.xlsoft.com/jp/products/register/intel.html>

インテル® C++ コンパイラーのインストール

- CD-ROM からインストールする場合、CD-ROM を挿入すると、自動的に [インストールウィザード] が起動します。もし自動起動されない場合は、CD-ROM 内の "Setup.exe" をダブルクリックしてください。

名前	サイズ	種類
現在ディスクにあるファイル (10)		
installs		ファイル フォルダ
instman		ファイル フォルダ
Autorun.inf	1 KB	セットアップ情報
chklic.exe	696 KB	アプリケーション
INSTALL.htm	36 KB	HTML ドキュメント
README.txt	7 KB	テキスト文書
Release_Notes.htm	58 KB	HTML ドキュメント
Setup.exe	48 KB	アプリケーション
SetupResource.dll	2 KB	アプリケーション拡張
style.css	6 KB	カスケード スタイ...

- コンパイラー・パッケージ (例 : w_cc_p_10.1.011_jp.exe) をダウンロードした場合、パッケージをダブルクリックすることにより [パッケージ展開ウィザード] が起動されます。

このウィザードの [ファイルを保存するフォルダー] で指定したフォルダーにパッケージが展開されます。インテル® C++ コンパイラー 10.1 日本語版パッケージの場合、デフォルトの展開先は以下のフォルダーになります。

> C:\Program Files\Intel\Download\IntelC++Compiler10.1_jp

[パッケージ展開ウィザード] の [次へ] ボタンをクリックするとパッケージの展開が開始し、[インストールウィザード] が自動で起動されます。

ご注意 : パッケージは必ず日本語を含まない英数字のみのフォルダーに展開してください。

図 : パッケージ展開ウィザード

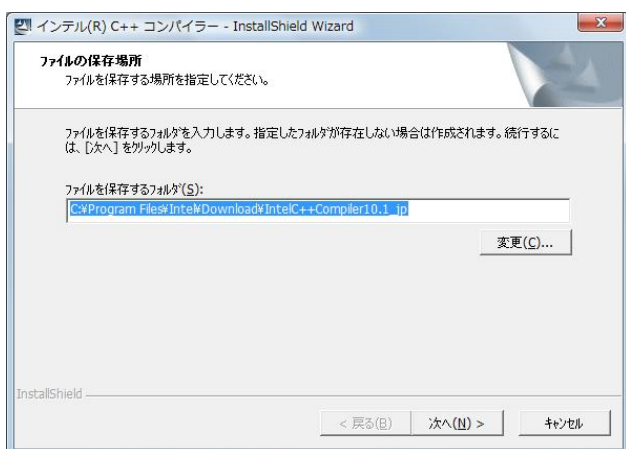


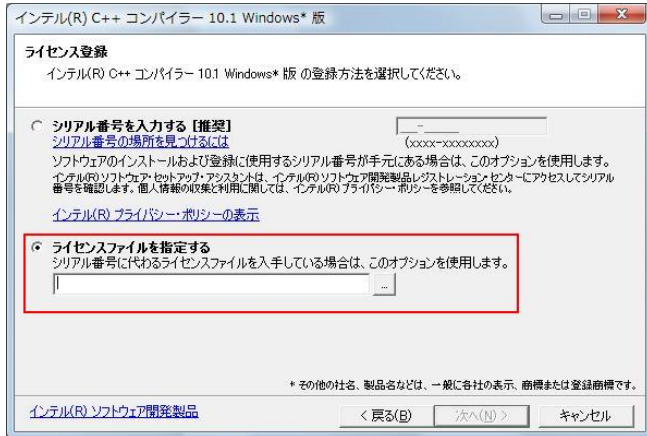
図 : インストール・ウィザード



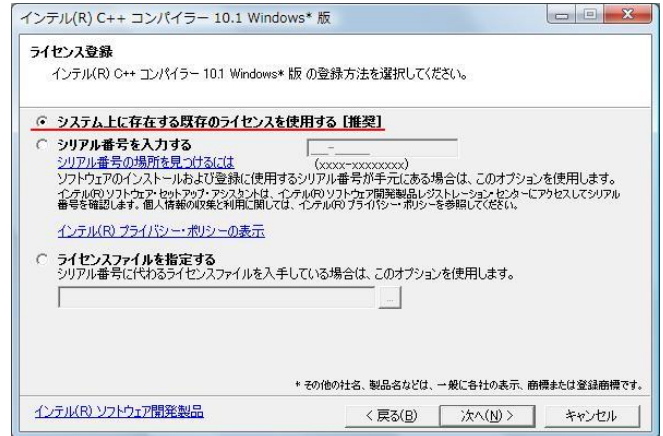
- [インストール・ウィザード] ダイアログの [次へ] ボタンをクリックして先に進みます。

- [ライセンス登録] ダイアログが表示されるので、“ライセンスファイルを指定する”にチェックして、ライセンスファイルを指定し、[次へ] ボタンをクリックしてください。有効なライセンスファイルがすでに C:\Program Files\Common Files\Intel\Licenses フォルダーに存在する場合は、“システム上に存在する既存のライセンスを使用する”が表示されるので、こちらを選択してください。

図：ライセンス登録（その1）

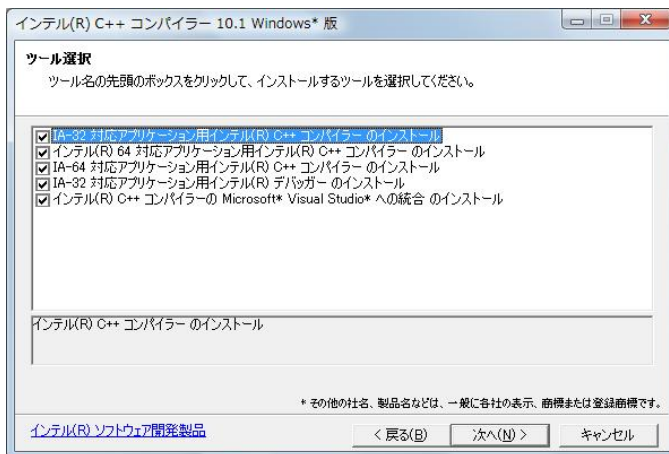


図：ライセンス登録（その2）



- [ツール選択] ダイアログでインストールするツールを選択して [次へ] をクリックします。このダイアログで選択したツールが順番にインストールされます。

図：ツール選択



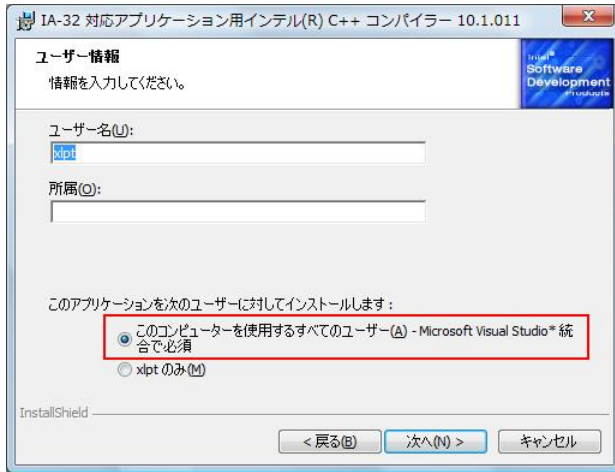
ご注意：表示される機能の内容は、インストール環境により異なります。

ノート：例えば IA-64 (Itanium) 用のアプリケーションを作成する必要が無い場合は、“IA-64 対応アプリケーション用 Intel(R) C++ コンパイラーのインストール”のチェックをはずすなど、必要の無いツールはインストールしないことをお勧めします。

※ 本マニュアルでは、以下「IA-32 対応アプリケーション用 Intel(R) C++ コンパイラーのインストール」に関して記述しますが、その他のツールにおいても同様の手順です。

- [ようこそ] 画面で [次へ] をクリックします。
- [使用許諾契約] ダイアログで同意して、 [次へ] をクリックします。
- [ユーザー情報] ダイアログで、“このコンピューターを使用するすべてのユーザー” をチェックされていることを確認して、 [次へ] をクリックします。

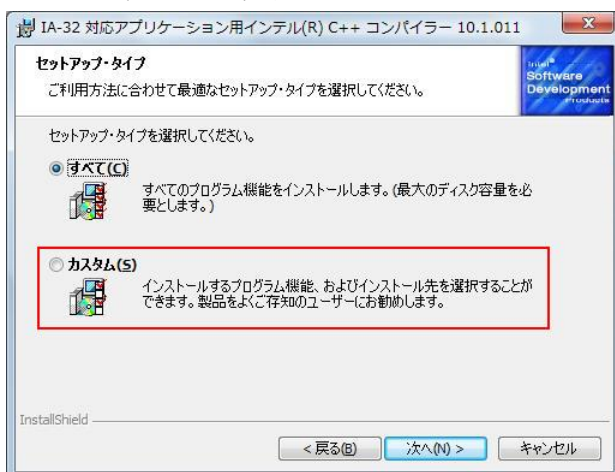
図：ユーザー情報



ご注意：Visual Studio への統合をインストールする場合は、必ず“このコンピューターを使用するすべてのユーザー”を選択してください。

- [セットアップ・タイプ] ダイアログで、“すべて” または “カスタム” を選択して [次へ] ボタンをクリックします。“すべて” を選択した場合は [インストール準備完了] の画面が表示されます。また、“カスタム” を選択した場合は、[カスタム・セットアップ] ダイアログが表示され、インストール設定を行うことができます。

図：セットアップ・タイプ

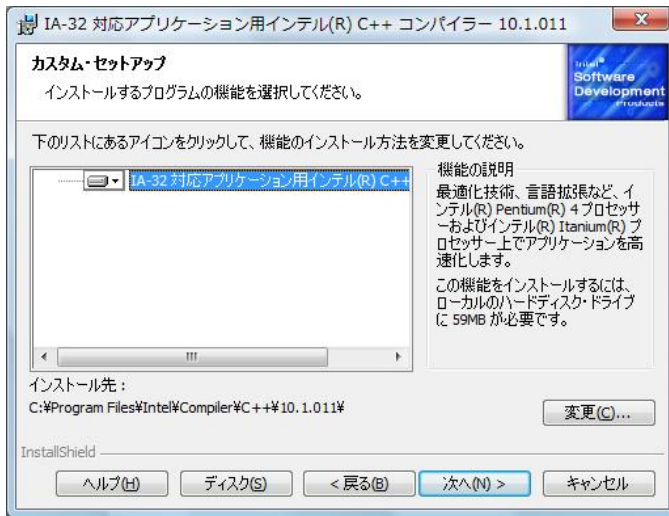


ノート：“カスタム” を選択した場合、システム環境変数の自動更新を行うことができます。作成したアプリケーションが実行時にインテルの DLL ライブラリーを参照する場合がありますので、通常は“カスタム” を選択することを推奨します。

※ ここでは、“カスタム” を選択した場合のインストール手順を説明します。

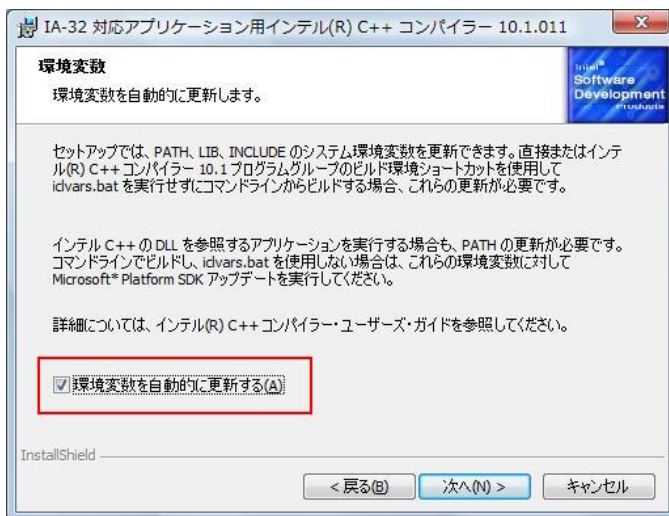
- まず、[カスタム・セットアップ] ダイアログが表示されます。ここでは、インストールする機能の指定、およびインストール先の変更ができます。通常はデフォルトの設定のまま、[次へ] ボタンで進んでください。

図：カスタム・セットアップ



- 次に、[環境変数] ダイアログが表示されます。このダイアログでは、“環境変数を自動的に更新する” にチェックをつけて、[次へ] ボタンをクリックしてください。

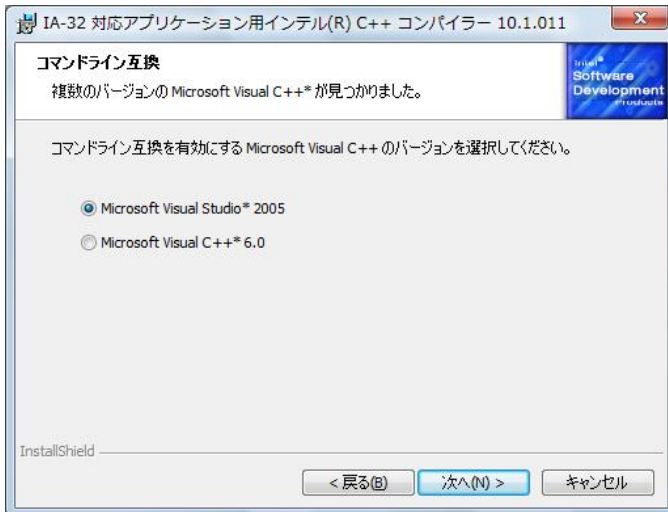
図：環境変数



ノート：“環境変数を自動的に更新する” にチェックをつけることにより、システム環境変数 (PATH、LIB、INCLUDE) に、インテル® C++ コンパイラーが提供する環境変数を追加します。これらのシステム環境変数を更新することにより、Windows スタートメニューから [プログラム] - [アクセサリ] にある “コマンドプロンプト” を使用して、コンパイル作業を行うことができます。また、作成したアプリケーションを実行する際、インテル® C++ コンパイラーが提供するライブラリーが必要な場合でも、システム環境変数が設定されている場合は自動でそれらのライブラリーを参照することができます。

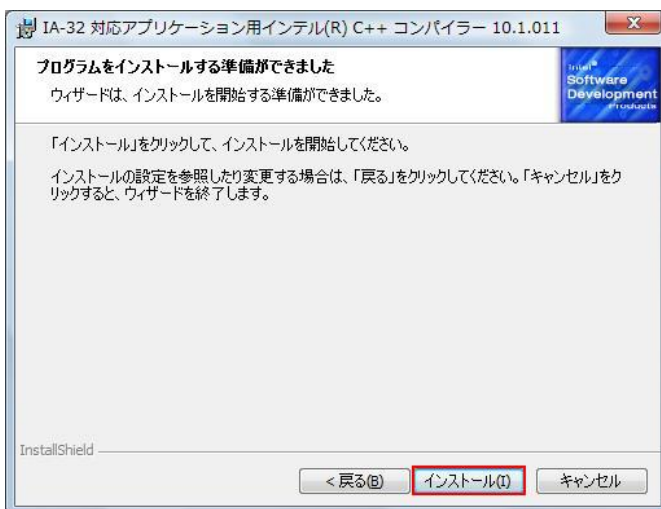
- システムに複数のバージョンのビルド環境（下図の場合、 Visual Studio 2005 と Visual C++ 6.0） がインストールされている場合は、[コマンドライン互換] ダイアログが表示されます。これは、コマンドライン作業におけるリンク環境の選択であり、インテル® C++ コンパイラーをコマンドライン上で使用する場合、ここで選択したバージョンのリンク環境が適用されます。通常はデフォルト設定のまま、[次へ] ボタンをクリックしてください。

図：コマンドライン互換



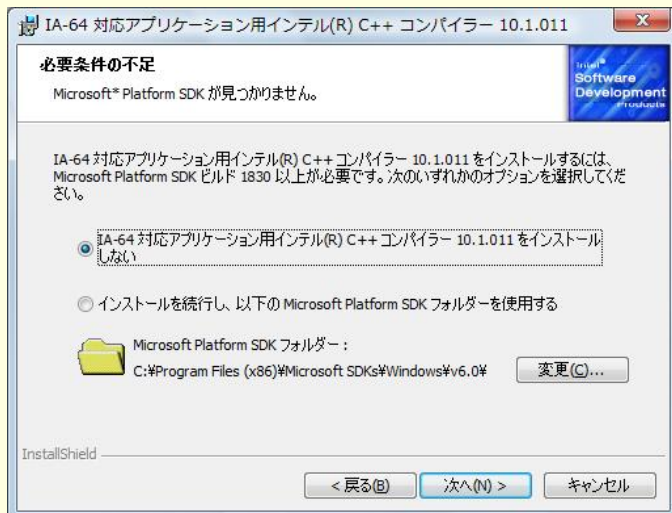
- [プログラムをインストールする準備完了] の画面が表示されたら、[インストール] ボタンをクリックしてインストールを開始します。

図：プログラムをインストールする準備完了



- 「IA-32 対応アプリケーション用インテル(R) C++ コンパイラーのインストール」が完了したら、続いて選択したツールのインストールが開始されます。同様の手順でインストール作業を行ってください。

ご注意：インストールするコンパイラーに対し、ビルド環境がシステムにインストールされていない場合は、以下のような画面が表示されます。例えば下図の場合、IA-64（Itanium）用のビルド環境がインストールされていないシステムに、“IA-64 対応アプリケーション用インテル(R) C++ コンパイラー” をインストールしようとしたケースです。この画面が表示された場合は、デフォルト設定のまま、[次へ] ボタンをクリックしてください。



ご注意：“Visual Studio への統合” のインストール途中、以下の [プログラム互換性アシスタント] 画面が複数回表示される場合がありますが、[プログラムを実行する] ボタンをクリックして先に進んでください。



Visual Studio 2005 サービスパックの適用

Visual Studio 2005 製品をビルド環境として使用する場合は、インテル® C++ コンパイラーをインストールする前に Visual Studio 2005 用サービスパックをインストールしてください。（すでに、インストール済みの場合は必要ありません。）

以下のサイトより、“**Visual Studio 2005 Service Pack 1（日本語）**” を選択し、表示されるページから [ダウンロード] ボタンをクリックしてインストールを行ってください。

<http://www.microsoft.com/japan/msdn/vstudio/downloads/sp/vs2005/sp1/>

また、Windows Vista をご使用の場合は、さらに“**Visual Studio 2005 Service Pack 1 Update for Windows Vista**” をインストールする必要があります。以下のサイトより同様にダウンロードおよびインストールを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=90e2942d-3ad1-4873-a2ee-4acc0aace5b6&DisplayLang=ja>

～ 最後に ～

インストールお疲れ様でした。インストールが無事完了したら、インストールの確認も含め、以下の『入門ガイド』を参考にして一度コンパイル作業を行ってみましょう。

http://jp.xlsoft.com/documents/intel/cwin/ICC_I_GSG.pdf

インストール作業にて問題が発生した場合、またその他ご不明な点がありましたら、下記お問い合わせ窓口より弊社サポートまで御連絡ください。

https://www.xlsoft.com/jp/services/xlsoft_form.html

<参考 URL>

レジストレーション・センター FAQ :

http://www.xlsoft.com/jp/products/intel/support/premier_faq.html

コンパイラー 10.1 FAQ :

http://www.xlsoft.com/jp/products/intel/compilers/comp10_faq.html

日本語版スペシャル・エディション FAQ :

http://www.xlsoft.com/jp/products/intel/compilers/compiler_j.html

2008 年 4 月 1 日